

## 受信機用レギュレーター PS-10 BR5.2

# 取扱説明書

注意：ご使用前に必ず本書をお読みください。  
本書はいつでも活用できるように大切に保管してください。

このたびは受信機用レギュレーター PS-10 をお買い上げいただきありがとうございます。

従来の 4.8V 仕様システムの受信機用バッテリーとしてハイボルテージ仕様のリフェ/リポバッテリーを使用したい場合に、この PS-10 をバッテリーと受信機間に接続することにより、受信機電源を 5.2V に下げることができます。

- 2.4GHz システム専用 (2.4GHz 以外のシステムでは使用しないでください。)
- PS-10 はバッテリーと受信機間でご使用ください。受信機とサーボ間では使用できません。
- 接続できるサーボ数は最大 5 個程度を目安としてください。ただし、使用するサーボや条件によっては接続できるサーボ数は異なります。入力電圧、出力電流等、PS-10 の規格の範囲内でご使用ください。

## 使用上の注意

### 警告

- ❗ **スイッチを必ずバッテリーと PS-10 の間に接続する。**
  - PS-10 と受信機間にスイッチを接続すると、スイッチを切った状態でも微少の電流が流れるため、バッテリー過放電の危険があります。
- ⊘ **PS-10 と他のレギュレーターやバッテリーを並列接続しない。**
  - 並列接続すると、発煙・発火・破損の恐れがあります。
- ⊘ **電源の+ (赤線) と- (黒線) を逆に接続しない。**
  - 逆に接続すると、発煙・発火・破損の恐れがあります。
- ❗ **PS-10 は必ず飛行機・ヘリの機体にしっかりと固定した状態で使用する。**
  - 振動や衝撃によりコネクタが抜けると操縦不能となり、墜落の恐れがあります。
- ⊘ **PS-10 をスポンジ等で包まない。**
  - 包むと冷却効果が損なわれ、本来の性能が得られません。

- ⊘ **サーボがロック状態になったり、PS-10 の定格出力を超えるような状態を続けない。**
  - 保護回路が動き出力電圧が低下すると操縦不能となり、墜落の恐れがあります。  
保護回路が働いた場合、過負荷の原因を取り除いた上で、1 時間程度時間を置いてからご使用ください。

### 注意

- ⊘ **取付フランジに無理な力を加えない。**
  - 無理な力を加えると、フランジが破損する恐れがあります。

弊社製品以外との組み合わせにより発生した損害等につきましては、弊社では責任を負いかねます。

## 接続方法

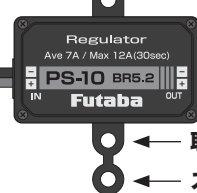
リフェ/リポ  
バッテリー等

6.6V ~ 11.1V  
(バッテリー定格)

スイッチ

入力

PS-10



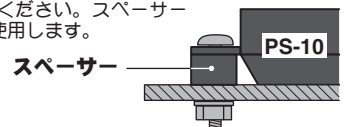
● 受信機に接続

出力  
(5.2V)

### 【PS-10 BR5.2 規格】

(受信機用レギュレーター)  
**主用途**：4.8V 仕様受信機・サーボ電源  
**入力電圧範囲**：6.0V ~ 12.6V  
**出力電圧**：5.2V  
**定格出力電流**：7A (最大 12A/30 秒)  
**使用温度範囲**：-10 ~ +45°C  
**保存温度範囲**：-20 ~ +60°C  
**寸法**：35.6x20.5x10mm (本体、突起部除く)  
**重量**：14.9g

※ 機体に固定する場合、必要に応じて取付フランジおよびスペーサを使用してください。スペーサはニッパー等で切り取って使用します。



### PS-10 の放熱について：

PS-10 は効率よく放熱できるように、銘板側にアルミケースを使用しています。アルミケースが露出するように固定してください。アルミケース側を機体側に向けて固定したり、スポンジ等で包むと、冷却効果が損なわれ、本来の性能が発揮できません。